

# 市民推進の基本的な考え方 平成18年度市政執行方針から

## 市民の一体感の形成 新総合計画の策定と協働によるまちづくり まちづくりを支える行財政基盤の確立

### 市民の 一体感の形式

ここに、平成18年度の市政執行の基本的な考え方について申し上げます。一点目は、「市民の一体感の形成について」であります。合併後、2カ月余り経過をいたしました。市民の皆さんには旧市町への拘りが残っているのではないかと思います。これまで長年にわたり2つの自治体のもとで行政サービスが行われてきましたので、当然のこととは思いますが、今後できる限り早期に、名寄市民としての融和を図り、3万2千市民の一体感の醸成に努めながら、合併して良かったと言われるようなまちづくりを、積極的に推進してまいります。

### 新総合計画の策定と協働による まちづくり

二点目は、「新総合計画の策定と協働によるまちづくりについて」であります。まちづくりの主役は市民であり、市民と行政のパートナーシップのもと、協働によるまちづくりを進めることが何よりも重要であると考えています。新市の将来のあるべき姿を描いた、市政運営の柱となる「名寄市総合計画」については、平成19年度スタートを目指し策定してまいります。総合計画の策定に当たりましては、合併協議会で策定された「新市建設計画」の基本的考え方、事業計画等を踏まえながら、策定審議会をはじめ多くの市民の皆さんに参画をいただき、協働のもとで計画づくりを進めてまいります。

また、合併による行政区の広域化に対応した地域コミュニティのあり方について、小学校区を単位とした地域自治区について検討し、理解を深めていただくため議論の場を作っております。さらに、分権社会に対応した新しいまちづくりを進めるため、市民と行政の役割などを明らかにする「自治基本条例」の策定手法を検討してまいります。

### まちづくりを支える 行財政基盤の 確立

三点目は、「まちづくりを支える行財政基盤の確立について」であります。歳入の減少や行政経費の増大など、財政状況がさらに厳しさを増す一方、行政に対する住民ニーズはますます多様化、複雑化しています。その中で、

旧市町が取り組んでいた以上に行政改革を積極的に進め、財源の確保を図っていかねばなりません。そのため、新たな行政改革推進計画を早急に作成し、一層の行政改革に努めてまいります。また組織・機構については、他の自治体ではあり例のない両市町の庁舎を活用する「分庁方式」を採用してまいります。「市民の皆さんに不便がないか」「効率的に事務が行われているか」などを常に点検しながら、市民ニーズに的確かつ柔軟に対応される行政運営の充実強化に努めてまいります。

以上、市政推進の基本的な考え方について申し上げます。

# 平成18年度の予算編成

## 平成18年度市政執行方針から

### 国の予算編成

次に、平成18年度の予算編成について申し上げます。

地方財政対策については、地方財政計画の規模が83兆1508億円で、前年度に比べ0.7パーセントのマイナスとなり、5年連続の減額となりましたが、「安定的な財政運営に必要な一般財源総額」は対前年比で204億円伸び、55兆6334億円となり、前年に引き続き確保されることになりました。

国の予算は、郵政民営化の着実な実施、政策金融改革、総人件費改革、資産・債務改革、市場化テストによる民間への業務開放・規制改革等を通じて、「小さくて効率的な政府」を実現するとともに、「2010年代初頭における基礎的財政収支の黒字化」及び「デフレの克服、民需主導の持続的経済成長」の実現を図るべく編成されました。

平成18年度の経済見通しについては、景気の動向が地域や業種によってばらつきが見られるものの、民間需要中心の緩やかな回復を続け、国内総生産の実質成長率は1.9パーセント程度と見込まれていきます。

地方財政対策については、地方財政計画の規模が83兆1508億円で、前年度に比べ0.7パーセントのマイナスとなり、5年連続の減額となりましたが、「安定的な財政運営に必要な一般財源総額」は対前年比で204億円伸び、55兆6334億円となり、前年に引き続き確保されることになりました。

我が国は今、人口増加の時代から人口減少の時代へ、高齢化社会から高齢社会へと移り変わる歴史の転換点に立っており、経済の停滞、社会保障の水準低下、地方自治体の財政基盤の弱体化が危惧されています。

### 新「名寄市」の予算編成

計の総額では381億4582万9千円となりました。

こうした中、名寄市の平成18年度予算は、新・名寄市の誕生に伴い、3カ月間の暫定予算で執行してまいりました。「本予算」案は旧風連町長と旧名寄市長の間で協議が調いました。「新市に引き継ぐ予算」案に若干の補正を加え、地域経済及び雇用にも配慮した公共施設の整備、産業基盤・観光資源の整備・拡充、学校教育環境の充実、名寄市立大学の円滑な運営と地域への貢献、より効果的で持続可能な福祉サービスの5本を柱に編成いたしました。

一般会計予算案の規模は184億521万6千円となり、旧市町合算の前年度予算額に比べると2パーセントのマイナスになりました。

また、8つの特別会計予算案は109億8528万7千円、2つの企業会計予算案は87億5532万6千円となり、全会

計の総額では381億4582万9千円となりました。

国は、歳出を大胆に見直す「小さくて効率的な政府」を進めておりますが、その中で地方に更なる自立を求め、人口・面積を中心に配分する「新交付税」を平成19年度予算から導入することが検討され、地方の厳しい財政運営に一層拍車がかかるものと思われれます。

合併しても、劇的に財政が豊かになる訳ではなく、住民同士の融合を進め、合併特例債等を活用して、新しいまちづくりを進めるために、合併特例法による財政支援と時間的余裕をいただいたものと考えています。

今後、厳しい財政状況が続く中で、今までの発想での積上型予算編成はすでに不可能であり、子や孫に支えきれない負の遺産が残らないよう、真に必要な施策を厳選することにより、住民福祉の増進に努めてまいります。

### 教育行政執行方針から

名寄市の教育行政について、今後新たな事業として取り組むものとしてしましては、新名寄市の教育目標の制定、旧名寄市における小学校区の見直し、学校給食センターの統合などがあります。

更に、引き続き取り組み課題といたしましては、市内高等学校の再編、特別支援教育導入への準備、児童生徒の安全確保、市立木原天文台を媒体とした北大との連携、国際理解教育の推進、名寄市立大学並びに短期大学との様々な教育活動における連携などがあります。

合併を機に教育委員会事務局も機構改革をいたしました。今後とも組織の機能化を図りながら、市民の目線に立った教育行政を推進する中で、名寄市における教育の諸課題解決に努めてまいります。

## 主な事業をお知らせします

地域経済及び雇用にも配慮した公共施設の整備、産業基盤・観光資源の整備・拡充、学校教育環境の充実、名寄市立大学の円滑な運営と地域への貢献、より効果的で持続可能な福祉サービスの5本を柱に編成された、新「名寄市」の予算について、新市建設計画で示されたまちづくりの基本方向ごとに分類して、主な事業をお知らせします。

『住民が主役の、  
「参画と協働でつくるまちづくり」』

住民主権、地域主権の理念のもと、住民と行政が協働する地域自治組織を創設し、自立するまちを目指します。

町内会館建設費等補助 【1000万円】  
 北国雪国ふるさと交流館  
 建設事業【9715万円】  
 自立する住民自治・地域 コミュニティ活動の推進  
 自治組織の確立のために寺 のために旧西田邸を改修増  
 町町内会館立て替えに補助 築します。

男女共同参画事業  
 【188万円】  
 地域情報コミュニティ事業  
 【7761万円】  
 住民と行政の連携強化の  
 ために、中継アンテナ整備  
 など、智恵文地区の難聴解  
 消対策を行います。

やさしさと助け合いで、  
 『幸せを実感できるまちづくり』

人と人が支え合い、健やかに暮らすことができ、一人ひとりが生涯輝いていられるまちを目指します。



病院医療機器整備事業

【2億円】  
 保健・医療サービスの推  
 進のために、市立総合病院、  
 東病院の医療機器を整備し  
 ます。

肺炎球菌予防接種委託料

【263万円】  
 65歳以上の希望者を対象  
 に、予防医療の観点からワ  
 クチン接種1人3500円  
 を一部助成します。

子育て支援センター運営  
 事業【2491万円】  
 子育て支援のために、市  
 営2カ所、委託1カ所の子  
 育て支援センターを運営し  
 ます。

ボランティアのまちづく  
 り事業【295万円】  
 地域福祉の推進のために、  
 地域福祉ネットワークを整  
 備します。

介護予防・地域住民グル  
 ープ支援事業【10万円】  
 高齢福祉の充実のために、  
 地域住民グループのボラン  
 ティアを育成します。

介護予防特定高齢者施策  
 事業【48万円】  
 高齢者体力づくり教室「元  
 気会」を拡大し、予防介護  
 を充実します。

地域生活支援事業  
 【280万円】  
 障害者福祉の充実のため  
 に、手話・要約筆記奉仕員  
 の養成事業等を行います。



美しい自然とともに、  
「環境にやさしく  
いごごちの良いまちづくり」

豊かな緑を大切にし、自然と  
調和した快適な生活環境を確保  
し、未来へとつなぐまちを目指  
します。

ごみの減量化と資源リサイ  
クル事業【347万円】  
防ごみの資源化・減量化  
を推進するために、資源回  
収の奨励助成、堆肥化容器(コ  
ンポスト)購入助成、段ポー  
ルコンポストの普及を行いま  
す。

公営住宅整備事業

【1億2414万円】

快適な生活環境の充実の  
ために、風連地区西町団地  
で3棟6戸を整備(全体で  
は平成21年度までに20棟40  
戸)します。名寄地区北斗・  
新北斗団地では基本計画を  
策定します。また、徳田団  
地の解体工事は、本年度6  
棟24戸を解体し事業完了と  
なります。



消防ポンプ自動車購入等  
【5762万円】

消防・救急の充実のため  
に、名寄消防署配置の水槽  
付消防ポンプ自動車を購入  
するほか、風連出張所配置  
の救急自動車に、携帯型の  
監視モニターを装備するこ  
とで、救命率の向上を図り  
ます。

防災会議・訓練等事業  
【58万円】  
防災対策の充実のために、  
地域防災計画を策定、防災  
訓練を行います。

サンピラーパーク整備事  
業【1億2126万円】  
公園・緑地の整備では、  
11月の道立サンピラーパー  
クの一部開園にあわせて、  
オートキャンプ場内のコテ  
ージ5棟を整備します。

公共下水道整備事業

【6億3453万円】

徳田地区の汚水面整備3  
ヘクタールを実施する予定  
で、名寄地区認可区域93  
5ヘクタールの89パーセン  
トに当たる828ヘクター  
ルが整備されます。なお、  
風連地区では、認可区域1  
80・2ヘクタールの84パ  
ーセントに当たる151・  
3ヘクタールが整備されて  
います。

事業【1807万円】  
危険樹木の伐採にあわせ  
て、新規事業として名寄市  
立大学周辺の環境整備を行  
います。

新規道路整備事業

東4号南線改良舗装事業  
【3737万円】  
まちづくり交付金道路新  
設事業【8171万円】  
緑丘第2団地通道路改良  
事業【1803万円】

東風連線道路交付金事業  
【6038万円】  
継続事業として、智烈布  
橋架換工事として橋台・橋  
脚の整備を行います。

道路整備継続事業

19線道路舗装新設事業  
【2511万円】  
菊山線道路改良舗装事業  
【3141万円】  
徳田2号線道路改良新設  
事業【5000万円】

個別排水処理施設整備事  
業【3076万円】  
農村部の個別合併浄化槽  
整備では、14基(予算積  
算時のもので、名寄地区9  
基、風連地区5基)の整備  
を行います。



臨時地方道整備事業

臨時地方道整備事業  
【5000万円】  
西5条仲通ほか1路線の  
生活道路整備を行います。

市道除排雪事業  
【2億8992万円】  
総合的な雪対策として、  
名寄地区、風連地区それぞ  
れ別方式で除排雪を実施し  
ます。

風連都市整備事業  
【686万円】

中心市街地活性化の推進  
として、風連本町地区市街  
地再開発事業によりにぎわ  
いのある市街地づくりを目  
指します。

魅力ある産業が展開し、

「活気と豊かさが

みなぎるまちづくり」

地域の特性を生かしながら産業間連携を進め、自立的に発展する活力あるまちを目指します。



アスパラガス自動選別施設整備事業  
中山間地域等直接支払制度交付金【1億861万円】

【3億395万円】  
合併によりアスパラガスの栽培面積が北海道一の236ヘクタールとなり、消費者ニーズに応え農家労働の負担を軽減するために「A道北なよるが主体となり取り組む事業です。総事業費は4億1180万円で、国の「元気な地域づくり交付金」1億9610万円を活用、市が1億786万円を支援することで、農家所得の向上と産地確立を図ります。

農業振興センター維持管理事業【2683万円】  
農業技術の研修及び農業情報の拠点施設として、アスパラガス大苗の供給事業、土壌診断、試験栽培・展示圃等を行います。



農業振興センター

経営体育成基盤整備事業  
【5635万円】

農業経営の安定を図るため、共和・東豊・瑞生の各地区で整地、排水などの整備を行います。

ふるさと農道緊急整備事業【924万円】

風連御料12線の路盤改良と舗装工事の早期発注を予定しています。

道の駅整備事業  
【6920万円】

風連地区における道の駅事業について、調査設計委託、事業運営企画の立案、建築外構工事の基本・実施設計、マーケティング調査を実施。敷地造成とトイレ整備等を行います。

ピヤシリスキー場整備事業【893万円】

リフトのベアリング交換、モーター・減速機のオーバーホール工事を行い、安全で安心して楽しめる施設を目指します。

個性にあふれ、

「学び合い地域文化が

花開くまちづくり」

生涯学習活動や文化活動を充実させ、名寄市立大学を活かした個性あふれるまちを目指します。



学校評議員設置事業  
【45万円】

学校教育の充実のために、制度を導入している9校において「開かれた学校づくり」を推進します。

社会科副読本編集事業  
【90万円】

社会科副読本編集委員会を設置し、平成20年度発行を目標に作業を進めます。

特別支援教育推進事業  
【12万円】

特別支援教育推進事業  
特別支援連携協議会を設置して、関係機関との連携を強化し、平成19年度から小学校の在り方について、広く市民の意見を聴き、検討を進めます。

〈学校施設・設備整備事業〉

豊西小学校放送設備工事  
【182万円】

【208万円】

不登校となっている児童生徒の、心の負担を軽減します。

【360万円】

智恵文小学校体育館屋根塗装事業

**総合学習振興事業**  
 【383万円】  
 社会体験や恵まれた自然を活用した体験学習を通じて、教育効果を高めます。

**風連児童会館整備事業**  
 【3281万円】  
 実施設計委託を含めた外部改修工事を行います。

**屋内南プール建設事業**  
 【2億5000万円】  
 屋内25メートルプールは鉄筋コンクリート平屋で6コース。子どもプールを設置。加温式の温水プールとなります。平成19年度の早い時期の完成を目指して建設を進め、生涯スポーツの振興を図ります。

**給食センター整備事業**  
 【970万円】  
 築32年が経過した風連町学校給食センターを統合するため、一部改修と消毒保管庫の増設、配管取換工事と屋上防水シート張替工事を夏・冬休み期間に実施します。

**名寄市立大学地域ケア実習室等改修事業**  
 【3078万円】  
 大学教育の充実のために、看護学科実習室、事務室の改修を行います。

**ピアシリシヤンツエ整備事業**  
 【903万円】  
 ピアシリシヤンツエミデアムヒルのカンを改修します。

**図書館改修事業**  
 【1500万円】  
 生涯学習社会の形成のために、外壁補修・屋上防水・屋内消火栓配管工事を行います。

**水供給施設整備事業**  
 【1億3000万円】  
 なよろ温泉サンピラーの温泉施設、体育センター、ジャンプ台への水供給施設の改修（取水口、浄水施設、給水槽）を行い、使用量の増大に対応できる取水口からの水量確保と安定給水能力の向上を目指します。



## 風連特例区予算

これまで旧風連町が培ってきた「地域の特性を生かしたまちづくり」を今後も継承し、合併に伴う行政の変化を緩和しながら地域自治の充実を図ります。

一般管理事業(特例区協議会等)	819万円
自治組織推進事業(行政区制度の存続)	446万円
自治活動推進事業(地域事業への支援)	80万円
広報・ホームページ開設事業	2万円
利雪克雪事業	620万円
(市街地国道道道の除排雪補助金)	454万円
定住対策事業	454万円
NPOまちづくり観光及び	848万円
イベント活性化事業	318万円
都市交流事業(東京都杉並区との交流)	213万円
都会っ子交流事業(杉並区との子ども交流)	15万円
ふるさと会事業(札幌風連会、旭川風連会)	49万円
町民広場手形作製事業(小学校入学者対象)	350万円
区域高校振興対策事業(風連高校)	32万円
放課後対策事業(児童クラブ設置運営)	495万円
通学・通園事業	963万円
(旭・西風連地区児童送迎・遠距離通学支援)	163万円
区域育英基金事業	245万円
河川・道路愛護事業	1252万円
特定車両運行事業(大型バス運行管理)	79万円
地域施設管理事業(福祉会館等の管理)	8万円
天塩川パークゴルフ場管理事業	231万円
町民農園管理事業	68万円
街路灯管理事業(維持管理補助金)	
防犯灯管理事業(防犯灯維持管理補助金)	